

業務部速報

発信者》JREU
仙台地本業務部 / 湯ノ目
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡1-4-3
TEL 022-297-0155
FAX 022-291-3070
JR 031-3981~3
FAX 031-3980
2020年 3月 6日

「2020年度郡山総合車両センター業務について」に関する申し入れ 提出！

2020年3月6日に申12号『「2020年度郡山総合車両センター業務について」に関する申し入れ』を提出しました。不明な点等ございましたら、地本業務部に連絡を下さい。

郡山総合車両センター業務については、「ミライの車両サービス&エンジニアリング(S&E)構創」を見据えても重要なマザーベースとして技術継承と技能伝承が出来る体制・職場づくりが課題であると認識しています。

近年、顕著に推移する大量退職期のなか、人口減少、少子・高齢化社会へと突入にあたり、本体教育等も変化するなか、グループ会社での教育も含め体制等のあり方にも問題意識があります。安定輸送の為に安全な車両の提供が必要であり、職場における認識一致が重要です。その議論をつくり出すためにも、提案内容を踏まえた中長期的視点もいれて議論していきたいと思えます。将来を見据え、社会・職場環境の変化に対する安全の確保とコンプライアンスを中心とした問題意識、人材確保と育成や技術継承・技能伝承を中心とした課題の解決等に向けた議論する考えです。

つきましては、以下のとおり申し入れますので真摯な回答を求めます。

記

1. 検修業務を受託するにあたり、部品や装置を明らかにするとともにどこの総車セや会社からどの程度受託するのかを示すこと。
2. 委託した業務にかかわる消耗品の取り扱いを明らかにするとともに共用するものと個別に準備するものの区分けを分かりやすく整備すること。
3. グループ会社へ委託した業務の品質向上を図る取り組みを明らかにするとともに、グループ会社プロパー社員の育成度合をどのように評価するのかを示すこと。
4. 改造工事や新車落成検査にかかわる業務の変化について明らかにすること。
5. 生産性を高める施策の展開について、基本的な考え方と進め方を示すこと。
6. グループ会社の基礎技術終了後、出向受けを行い、実務を担当させる場合の考え方を示すこと。
7. 検修業務における現場判定が覆った場合の取り扱いを示すとともに、その後、どのように現場展開を行うのか明らかにすること。
8. 再度の確認であるが、グループ会社へ業務委託を進める基本的考え方を明らかにするとともに、今年度の見通しを示すこと。
9. 装置科MM定検ラインにおける無負荷試験エリアを早急に修繕し、感電のリスク等を取り除くこと。
10. 2020年度退職者のエルダー希望者の雇用先を本人希望を最大限尊重し、早急に明確にすること。

以上